

沙 流 川

保護者向け校長通信

NO. 8

発行日

令和5年 9月22日

開校150周年記念式典 講演会が終了して

先週15日（金）に、富川小学校開校150周年記念式典と講演会が、実行委員会の皆様を始め、同窓の方々、保護者、関係機関の皆様の温かい支援により無事終了することができました。

本当にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年の9月から、実行委員会を立ち上げ、計画を立てて参りました。役員の方々には、それぞれの持ち味を生かしてもらえよう、事業部、イベント部、記念誌部に分かれていただき、「子どもたちのために」という共通の思いをもって取り組んでいただきました。

記念式典では、これまでの富川小学校の歴史や在校している子どもたちに対しての温かい励ましのお言葉を数多くいただき、伝統を受け継いでいく気持ちを高めることができました。本来であれば、全校児童が会場でお祝いできればよかったです。今回は、4年生以上が会場参加、1～3年生は、教室でリモート参加という体制を組んで150周年を祝うこととなりました。また、アンサンブルグループ「奏楽（そら）」の方々の生伴奏による「校歌斉唱」もあり、このような機会でなければ味わえない経験をすることができました。この生伴奏での校歌は、録音させていただきCD化したものを記念誌と一緒に配布させていただくこととなっておりますので、楽しみにしてください。

午後からの講演会では、戦場カメラマンの「渡部 陽一」さんと元スピードスケート日本代表金メダリストの「高木 菜那」さんの貴重なお話を聞くことができました。戦場カメラマンとアスリート、全く違うお二人ですが、子どもたちに伝えたいことは、「諦めず挑戦すること」でした。渡部さんは、「実際にやってみたり、行ってみたりすることで、うれしいこと、悲しいこと、辛いことなど、多くのことを学ぶことができるので、自分がや

りたいと思うことを諦めず挑戦してみてください。」と伝え高木さんは「自分がやりたいことをまずはやってみる。でも、失敗することもある。その失敗を人のせいにするのではなく、自分が本当にやりたいと思う気持ちを強くもって諦めず挑戦し続けることで、夢を叶えることができる。」と話されていました。

子どもたちは、「諦めず挑戦すること」の大切さを学ぶことができました。このような機会を子どもたちに提供していただいた方々へ、心から感謝申し上げます。



磯田実行委員長のご挨拶



高木 菜那氏 渡部 陽一氏